

各専門部会等取組状況報告書

専門部会名	児童教育支援部会
担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	⑤ 乳幼児期からの療育支援体制の整備
	⑥ 各保育園等への巡回相談
	⑦ スクールソーシャルワーカーの設置
協議概要	1. 平成28年度児童教育支援部会について 第1回 実施日時 平成28年7月11日 (1) 専門部会の位置づけについて 市内の放課後等デイサービスが4事業所となったことを受け、自立支援協議会の成り立ち及び児童教育支援部会の担う役割を確認。 (2) 療育支援体制基本構想の策定について 「長久手市療育支援体制基本構想(仮称)」について内容確認を行う。 (3) その他 部会員より、事業所間の連携、教育機関との連携、不登校状態にある児童の福祉サービス等の利用について、意見が交わされた。 2. 年間課題の進捗状況 児童教育支援部会にて「療育支援体制の整備」について取組み、「各保育園への巡回相談(長久手市保育所等巡回相談支援事業)」については、長久手市障がい者相談支援センター相談員が実施。 平成28年4月～7月の実績は7件(保育園6件・小学校1件)。 3. 今後について 平成28年度下半期にて「長久手市療育支援体制基本構想(仮称)」の取りまとめを行う予定。
今後の課題、取組	長久手市における療育支援体制の整備

所属	障がい者相談支援センター
部会長	鈴木 聖美

各専門部会等取組状況報告書

専門部会名	就労支援部会
担当する「ながいく障がい者プラン」の重点施策	⑧ 農業を活用した雇用機会の拡大（農福連携）
	⑨ 就労支援コーディネーターの設置
	⑩ 市役所での就労体験の実施
その他取組事業	1 市役所、福祉の家（ふろの日）等での販売会の実施 2 優先調達関連の推進
協議内容	⑧ 農福連携については、複数の事業所において取り組みが開始されたところで、今後の取り組みや事業の展開方法について考えていく。 ⑨ 現状の社会資源や既存の仕組みについて把握できたところであるが、今後は、コーディネーターの設置方法等について具体的に考えていきたい。 ⑩ 市役所での就労体験の実施については、調査の目的を明確にするのに時間を要し、調査が未実施である。就労移行の事業所の要望やご意見を聞きながら調査を進め、施設外就労の実施を早急にしていきたい。 2、優先調達の関連では、長久手市においてその主旨のご理解のもと強力に進められてきたところであるが、役務等でより一層の推進をお願いをしたい。
今後の課題、取組	・コーディネーターの配置、施設外就労の実施等いずれについても具体化を進め早い実施とその効果を検証したい。 ・優先調達の伸び率を下げないようにする事と民需への移行を考えていきたい。 ・即売会の実施については、長久手市役所、ござらっせ、豊田信用金庫、アピタ、市内小学区のイベント等数多く出店できる機会ができた事は、大きな成果だと思う。即売会への参加目的にもよるが、売上額の向上をはかり事業所の負担にならないようにしていきたい。

所属	社会福祉法人あいち福祉会 たかぎ作業所
部会長	燈明 泰伸

各専門部会等取組状況報告書

専門部会名	福祉サービス支援部会
担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	① グループホーム整備への支援
	② グループホームの体験利用の促進
	⑬ 移動支援の支援員の人材育成
協議概要	今年度より、福祉サービス支援部会の方式を、小単位の作業部会に分類し、重点施策の提案を、部会でまとめるためのワーキングチームとして開催することとした。 <会議開催状況> 平成28年4月27日(水) 16:30～ 「①グループホーム整備への支援」「②グループホームの体験利用の促進」の作業部会を実施した。 参加者：地域アドバイザー、福祉課、相談支援センター、部会長 現在までに情報収集した内容やその他について意見交換した。 <近隣市町の状況> 瀬戸市：社会福祉法人が、20名定員/3棟(1床・ショートステイ)を設置。開所時より満床でスタートした。今後もさらにグループホームの開設が見込まれている。 尾張旭市：自立訓練施設(12名定員・多機能型サービス)が設置された。 長久手市：1施設しかなく定員はすでにいっぱいである。 <グループホーム設置への課題> グループホームが単一・1施設での事業では、経営が難しい事業であり、かつ人材集めも難しい社会状況である。作業部会内の検討としては、「グループホーム設置または運営に関する公的な助成制度の検討や何らかの行政サポートが必要ではないか」などの意見交換がなされた。
今後の課題、取組	専門部会の近々の実施、作業部会の開催をしていきたい。作業部会については、移動支援の支援員の人材育成として、市内の移動支援事業提供事業所に集まっていただき、現況の移動支援の実施状況や課題についての意見交換会を開催していく見込みである。

所属	特定非営利活動法人百千鳥
部会長	竹田 晴幸

各専門部会等取組状況報告書

専門部会名	計画評価部会
取組事業	1 ながふく障がい者プランの進行管理 2 ながふく障がい者プランの評価
協議内容	<第1回>平成28年7月8日（金） 10：00～12：05 1 ながふく障がい者プランの進捗状況及び評価について ア 第3次障がい者基本計画 イ 第4期障がい福祉計画 ながふく障がい者プランの重点施策について進捗状況を確認し、評価を行った。評価結果については別添のとおり。
今後の課題、取組	・来年度のながふく障がい者プラン改訂に向け、策定方法等について検討を行う。

所属	愛知県立大学
部会長	吉川 雅博

各専門部会等取組状況報告書

専門部会名	事務局会議
担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	③ 基幹相談支援センターの設置
	④ 個別訪問調査の実施
その他の取組事業	1 地域生活支援拠点の整備
協議概要	＜第1回＞平成28年 4月13日（水） 15：00～16：15 1 障害者差別解消法の施行について 2 今年度の事務局会議の取組について 3 今年度の各専門部会の予定について ＜第2回＞平成28年 5月12日（木） 15：00～16：50 1 障がい者相談支援センターの相談業務で出てきた課題について 2 障がい者相談支援センターの基幹型移行について ＜第3回＞平成28年 7月14日（木） 15：00～16：10 1 個別訪問調査の実施について
今後の課題、取組	・相談支援センターで相談を受けることにより抽出された課題を各専門部会に割り振り、解決に向け取り組む。 ・基幹相談支援センターの平成29年度中の設置に向け、検討を進める。 ・障害者手帳を所持しているが、介護保険や障害福祉サービス等の利用がなく、地域などとのつながりが希薄な障がい者の抽出を行い、平成28年度中に個別訪問調査を開始する。 ・地域生活支援拠点について本市に合った設置方法を検討し、平成29年度末までに整備する。